

# 人形浄瑠璃文楽

男女の憎愛が織りなす  
“情”に満ちた名舞台！



歌川国貞(1786-1865)・歌川広重(1797-1858) 合作  
『双筆五十三次』より「石部」

# かつらがわれんりのしがらみ 桂川連理柵

物語深掘り

## 親子ほど歳の離れた二人、純愛かそれとも…

振袖に顔を隠し、恥ずかしそうにしている若い娘と、男。

左の絵は、当時14歳の信濃屋〈お半〉と、帯屋の中年男〈長右衛門〉を描いたものです。伊勢参りの帰り、お半は石部の宿で丁稚の〈長吉〉にしつこく言い寄られ、同じ宿にいた長右衛門の部屋へ逃げ込みます。仕方なく匿う長右衛門でしたがあろうことか二人は結ばれてしまいます。

これに嫉妬した長吉。夫の身を案じる貞淑な妻。何かをたくらむ義母。たった一夜を機に、両家を巻き込んだ大騒動へと発展します。

## 帯屋の段のみどころは…

### 有名なチャリ場

帯屋の段で有名なのが、「チャリ場」と呼ばれる滑稽な場面。

義母の息子である〈儀兵衛〉が長右衛門をからかい、お半からの恋文を面白おかしく読みます。舞台後方の長右衛門とその妻〈お絹〉が動かずしてどう感情を表現するのか、義太夫と人形遣いの対照的な表現に、ぜひ注目です。

2023年10月14日(土)

所沢市民文化センターミュージズ マーキーホール

夜の部「桂川連理柵」17時開演



公演に関する詳細は  
公式ホームページまたは  
ちらしをご覧ください